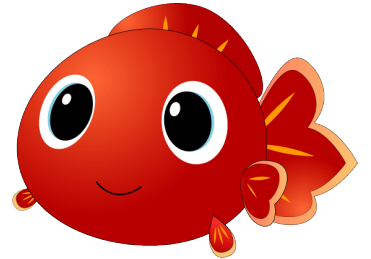


認知症になっても安心して生活できるように

大和郡山市認知症初期集中支援チーム

○認知症初期集中支援チームとは？

ご本人やご家族からの相談を受け、認知症が疑われる方や認知症の方のご家庭を訪問し、必要な支援を検討し、各関係機関と連携して必要な支援を行います。



○チーム員は？

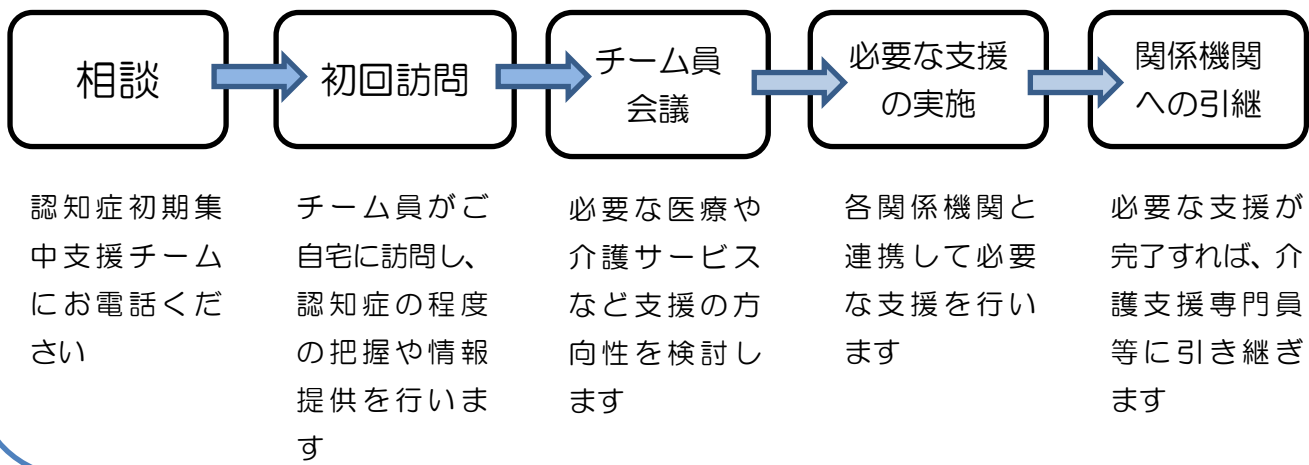
認知症の専門医と専門知識を持つ保健師または看護師、社会福祉士、介護福祉士などで構成しています。

○対象となる方は？

40歳以上で、自宅で生活されており、かつ認知症が疑われる方や認知症でお困りの方で、次のいずれかに該当される方。

- ① 認知症疾患の臨床診断を受けていない方、または治療を中断している方
- ② 医療サービスや介護サービスを利用していない方

支援のながれ



問い合わせ

	担当地区	住所	電話
地域包括支援センター	郡山北	北郡山町248-4(大和郡山市役所1階)	0743-55-7733
第二地域包括支援センター	片桐・西田中・新町	小泉町105-1(片桐地区公民館内)	0743-55-7011
第三地域包括支援センター	昭和・治道・筒井	宮堂町160-7(あすなら苑敷地内)	0743-57-2233
第四地域包括支援センター	平和・郡山南	若槻町4-4(平和地区公民館内)	0743-51-0700
第五地域包括支援センター	矢田・郡山西	矢田町4547(矢田コミュニティ会館内)	0743-52-3480

こんなことに思い当たれば認知症？

日常の暮らしの中で、認知症のはじまりではないかと思われる言動を「家族会」の会員の経験からまとめたものです。医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください。

もの忘れがひどい

- 今切ったばかりなのに電話の相手の名前を忘れる
- 同じ事を何度も言う・問う・する
- しまい忘れ置き忘れが増えいつも探し物をしている
- 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

人柄が変わる

- 些細なことで怒りっぽくなった
- 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- 自分の失敗を人のせいにする
- 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

判断・理解力が衰える

- 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 新しいことが覚えられない
- 話のつじつまが合わない
- テレビ番組の内容が理解できなくなった

不安が強い

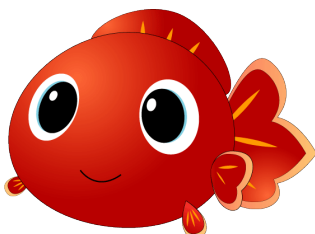
- ひとりになるとこわがったり寂しがったりする
- 外出時持ち物を何度も確かめる
- 「頭が変になった」と本人が訴える

意欲がなくなる

- 下着を替えず身だしなみをかまわなくなった
- 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- ふさぎ込んで何をするのも億劫がりいやがる

場所・時間がわからない

- 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 慣れた道でも迷うことがある



(出典：公益社団法人認知症の人と家族の会作)